



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス-専門科目(基礎専門科目)」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	市場経済論																																																														
担当教員	大澤 健																																																														
対象学年		クラス	E1																																																												
講義室		開講学期	後期																																																												
曜日・時限	火3,金2	単位区分																																																													
授業形態	講義	単位数	4																																																												
準備事項																																																															
備考	標準履修年次 1年生																																																														
科目名(英語表記)	Market Economics																																																														
開設学科	経済学科																																																														
研究室	経済学部棟 E-317																																																														
オフィスアワー	火曜日 16:30~17:30																																																														
授業の概要	<p>経済学は、私たちが暮らす社会である「市場経済」、「資本主義社会」を対象とした学問です。「市場」や「資本」という言葉は日常良く聞く言葉ですが、改めて説明するとなるとなかなか難しいものです。 この講義では、こうした経済学の基本的な用語にそって、この社会の基礎的な仕組みと運動の原理を説明していきます。</p>																																																														
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス</td> <td>16</td> <td>第3章 絶対的剰余価値の生産 ①貨幣の資本への転化-資本の定義とその意味-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1章 商品 ①市場とは何か</td> <td>17</td> <td>②労働力商品の販売と購買</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>②市場経済の原理と特質</td> <td>18</td> <td>③剰余価値発生メカニズム その1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>③市場経済と社会全体</td> <td>19</td> <td>④剰余価値発生メカニズム その2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>④市場経済と価格メカニズム~「需要と供給の一致」の意味</td> <td>20</td> <td>⑤資本主義的生産の特徴 その1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>⑤商品の価格はどのように決まるのか?</td> <td>21</td> <td>⑥資本主義的生産の特徴 その2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>⑥労働価値論という奇妙な理論とその系譜</td> <td>22</td> <td>第4章 相対的剰余価値の生産 ①相対的剰余価値の概念と発生仕組み</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>⑦唯物史観~資本主義を歴史の中で捉える</td> <td>23</td> <td>②相対的剰余価値の生産と賃金・利潤関係</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第2章 貨幣 ①貨幣とは何か</td> <td>24</td> <td>③資本主義とイノベーション~生産性を上昇させる生産の諸形態</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>②貨幣の諸機能 その1</td> <td>25</td> <td>第5章 資本の蓄積過程 ①蓄積の意味と蓄積の一般的法則</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>③貨幣の諸機能 その2</td> <td>26</td> <td>②相対的過剰人口と資本主義</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>④流通手段と通貨制度</td> <td>27</td> <td>第6章 ①資本の循環と市場のメカニズム</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>⑤銀行信用のメカニズム</td> <td>28</td> <td>②資本の循環におけるストックとフロー</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>⑥国際通貨制度 その1</td> <td>29</td> <td>③資本主義的生産の全体像</td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	回	内容	1	ガイダンス	16	第3章 絶対的剰余価値の生産 ①貨幣の資本への転化-資本の定義とその意味-	2	第1章 商品 ①市場とは何か	17	②労働力商品の販売と購買	3	②市場経済の原理と特質	18	③剰余価値発生メカニズム その1	4	③市場経済と社会全体	19	④剰余価値発生メカニズム その2	5	④市場経済と価格メカニズム~「需要と供給の一致」の意味	20	⑤資本主義的生産の特徴 その1	6	⑤商品の価格はどのように決まるのか?	21	⑥資本主義的生産の特徴 その2	7	⑥労働価値論という奇妙な理論とその系譜	22	第4章 相対的剰余価値の生産 ①相対的剰余価値の概念と発生仕組み	8	⑦唯物史観~資本主義を歴史の中で捉える	23	②相対的剰余価値の生産と賃金・利潤関係	9	第2章 貨幣 ①貨幣とは何か	24	③資本主義とイノベーション~生産性を上昇させる生産の諸形態	10	②貨幣の諸機能 その1	25	第5章 資本の蓄積過程 ①蓄積の意味と蓄積の一般的法則	11	③貨幣の諸機能 その2	26	②相対的過剰人口と資本主義	12	④流通手段と通貨制度	27	第6章 ①資本の循環と市場のメカニズム	13	⑤銀行信用のメカニズム	28	②資本の循環におけるストックとフロー	14	⑥国際通貨制度 その1	29	③資本主義的生産の全体像		
回	内容	回	内容																																																												
1	ガイダンス	16	第3章 絶対的剰余価値の生産 ①貨幣の資本への転化-資本の定義とその意味-																																																												
2	第1章 商品 ①市場とは何か	17	②労働力商品の販売と購買																																																												
3	②市場経済の原理と特質	18	③剰余価値発生メカニズム その1																																																												
4	③市場経済と社会全体	19	④剰余価値発生メカニズム その2																																																												
5	④市場経済と価格メカニズム~「需要と供給の一致」の意味	20	⑤資本主義的生産の特徴 その1																																																												
6	⑤商品の価格はどのように決まるのか?	21	⑥資本主義的生産の特徴 その2																																																												
7	⑥労働価値論という奇妙な理論とその系譜	22	第4章 相対的剰余価値の生産 ①相対的剰余価値の概念と発生仕組み																																																												
8	⑦唯物史観~資本主義を歴史の中で捉える	23	②相対的剰余価値の生産と賃金・利潤関係																																																												
9	第2章 貨幣 ①貨幣とは何か	24	③資本主義とイノベーション~生産性を上昇させる生産の諸形態																																																												
10	②貨幣の諸機能 その1	25	第5章 資本の蓄積過程 ①蓄積の意味と蓄積の一般的法則																																																												
11	③貨幣の諸機能 その2	26	②相対的過剰人口と資本主義																																																												
12	④流通手段と通貨制度	27	第6章 ①資本の循環と市場のメカニズム																																																												
13	⑤銀行信用のメカニズム	28	②資本の循環におけるストックとフロー																																																												
14	⑥国際通貨制度 その1	29	③資本主義的生産の全体像																																																												

到達目標	「市場経済」の仕組みと理解するとともに、資本（企業）の運動原理を知ること、資本主義社会の基本的な特徴を理解する。それによって、これから経済学を学んでいくための基盤的な知識を獲得することを目指している。また、「社会」を体系的に理解する姿勢と、その方法について学ぶことを目標としています。
成績評価方法	定期試験の成績によって評価するが、講義中に課すレポートを加点要素として考慮する。つまり、レポートを提出しなくても減点することはありませんが、出しておくプラスになります。
教科書	柴田信也編著『政治経済学の再生』創風社 2011
参考書	講義中に適宜指示する。
授業時間外学習	
受講を推奨する関連科目	
履修上の注意・メッセージ	市場経済論と経済原論はセットになっています。この順番で両方を受講するようにしてください。

